

<照会先>
全国健康保険協会 企画部
池上・永井
TEL : 03-5212-8216

協会けんぽの平成 30 年度決算見込み(医療分)について

<協会会計と国の特別会計との合算ベース>

令和元年 7 月 5 日
全国健康保険協会

<全体の収支状況>

- 平成 30 年度は収入(総額)が 10 兆 3,461 億円、支出(総額)が 9 兆 7,513 億円となり、収支差は 5,948 億円となりました。

<収入の状況>

- 収入(総額)は前年度から 3,977 億円の増加となりました。主に「保険料収入」が 3,455 億円(3.9%)増加したことによるものですが、これは保険料を負担する被保険者の人数が 2.7%増加したこと、被保険者の賃金(標準報酬月額)が 1.2%増加したことが要因です。(なお、賃金の伸び+1.2%は、協会による医療保険の運営が始まった 20 年度以降で最も高い伸びとなりましたが、近年、保険料収入を増加させていた被保険者数の伸びについては、平成 29 年度をピークに伸びが鈍化しました。)

<支出の状況>

- 支出(総額)は前年度から 2,515 億円の増加にとどまりました。
- 支出の 6 割を占める保険給付費(総額)については、前年度から 1,899 億円(3.3%)の増加にとどまりました。これは、診療報酬マイナス改定(▲1.19%)により、医療費の伸びが抑制されたことなどが要因です。
- 支出の 4 割を占める高齢者医療に係る「拠出金等」についても、前年度から横ばいとなりました。これは、高齢者医療費の伸びによる後期高齢者支援金の増加はあるものの、診療報酬マイナス改定のほか、30 年度は退職者給付拠出金が大幅に減少(▲80.5%)したこと、マイナス精算(概算納付分の戻り)といった複数の一時的な要因により、伸びが抑制されたことなどが要因です。